

令和8年度
第1回 台東区区政サポーター
アンケート調査 報告書

「ペットコミュニティエリアについて」

「生涯学習について」

「認知症について」

台東区 総務部 広報課

令和8年度 第1回 台東区区政サポーターアンケート

区政サポーターとは

資 格：公募による区内在住の中学生以上の方

活動内容：区政に関するアンケートを郵便または電子メールで回答する。

任 期：2年（令和7年4月1日～令和9年3月31日）

目 的

区政サポーターの方に区の課題となっている「施策や事業に関するアンケート」に回答していただくことによって、区政への参加を図ります。また、アンケート結果は区民の貴重なご意見として、今後の区政運営の資料といたします。

内 容

- (1) ペットコミュニティエリアについて
- (2) 生涯学習について
- (3) 認知症について

調査概要

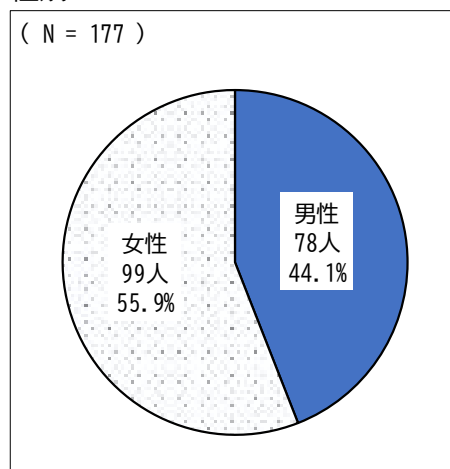
調査期間 令和8年4月27日（月）～5月10日（日）

対 象 区政サポーター200名（郵便によるサポーター28名、Eメールサポーター172名）

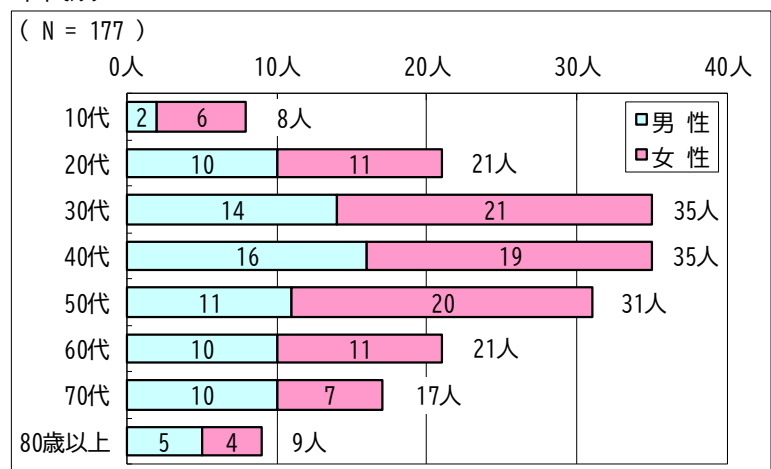
有効回収数 177名（郵便23名、Eメール154名） 有効回収率88.5%

回答者の属性

性別



年代別



地区別（区民事務所・分室・地区センター）

地 区	竹町	東上野	上野	入谷	金杉	谷中
男 性	4人	4人	3人	14人	8人	3人
女 性	6人	3人	4人	8人	7人	7人
計	10人	7人	7人	22人	15人	10人
地 区	浅草橋	浅草寿	雷門	馬道	清川	合計
男 性	4人	10人	14人	7人	7人	78人
女 性	13人	15人	9人	13人	14人	99人
計	17人	25人	23人	20人	21人	177人

職業別

職 業	自営業・ 個人事業主等	会社員・ 公務員等	主婦(夫)	学生	無職	その他	合計
人 数	22人	94人	22人	10人	17人	12人	177人

目 次

I 調査結果の分析

「ペットコミュニティエリアについて」・・・・・・・・・・ 1

「生涯学習について」・・・・・・・・・・ 9

「認知症について」・・・・・・・・・・ 17

II アンケート質問と回答・・・・・・・・・・ 25

報告書の表記について

- (1) 回答の構成比率(%)はすべて百分比で表し、小数点第2位を四捨五入しています。そのため、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがあります。
- (2) 基数となるべき実数は、Nで表しています。
Nは、回答者総数または該当設問の該当者数です。
- (3) 複数回答の設問は、各選択肢を1つだけでなく、2つ以上選択するため、各選択肢の合計数字が100%を超える場合があります。
- (4) 自由意見は、文字制限がある為、要約して掲載する場合があります。

※この報告書は、区のホームページ <https://www.city.taito.lg.jp/>に掲載しています。
(トップページ>区民の声>台東区区政サポーター)

I 調査結果の分析

【ペットコミュニティエリアについて】

ペットコミュニティエリアは、現在、約1,200頭の利用登録があります。平成26年の開設から10年以上が経過し、様々な意見をいただくことから、当エリアの現状と課題を把握し、今後の運営の参考とするため、調査を実施しました。

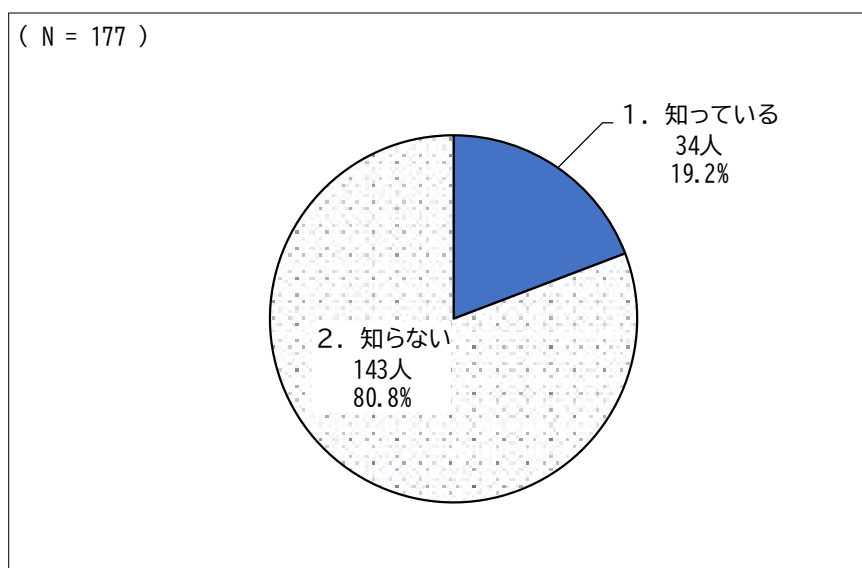
今回の調査では、ペットコミュニティエリアを「知っている」と回答した方は約2割でした。また、犬を飼っている（または過去に飼っていた）方においては、「利用したことがない」、または利用したことがあっても「年に数回ほど」と回答しており、認知度の向上と、利用しやすい環境の整備が必要であることがわかりました。

自由意見では、飼い主のマナー、当エリアのルール及び設置に関する意見を多くいただきました。

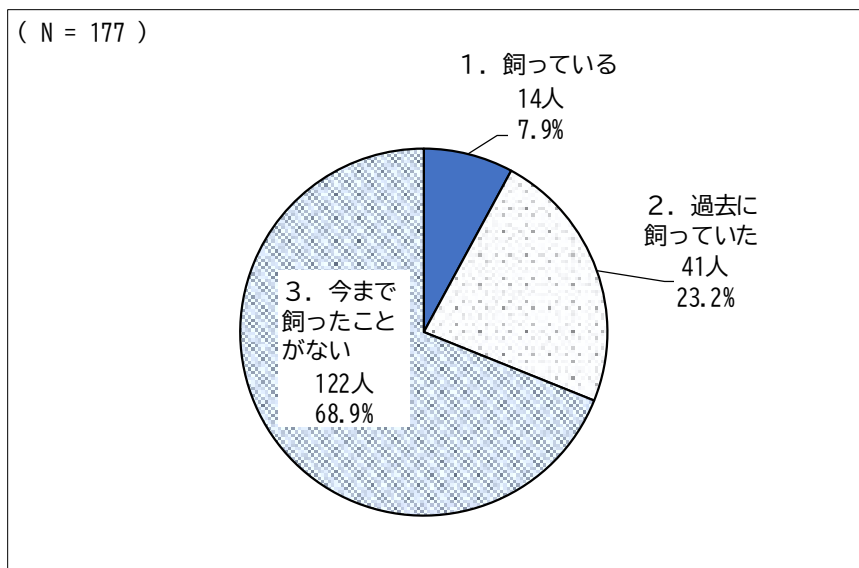
今回の調査結果を踏まえ、様々な観点からペットコミュニティエリア事業について検討し、今後の運営に活かしてまいります。

(都市づくり部 公園課)

設問1：区では、愛犬を通じた飼い主同士の新たなコミュニティの場の醸成を目的とし、平成26年より隅田公園内にペットコミュニティエリアを設置しています。あなたはこのエリアを知っていますか。

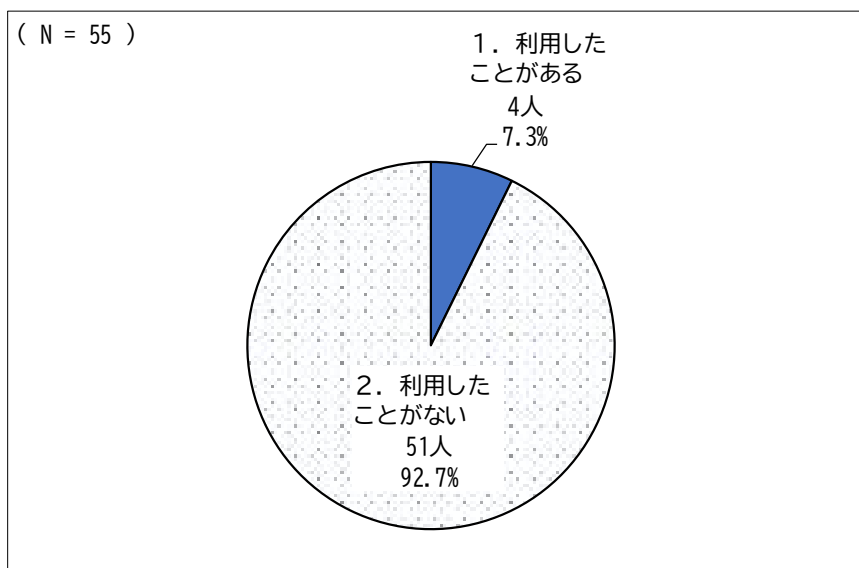


設問2：あなたは犬を飼っていますか。

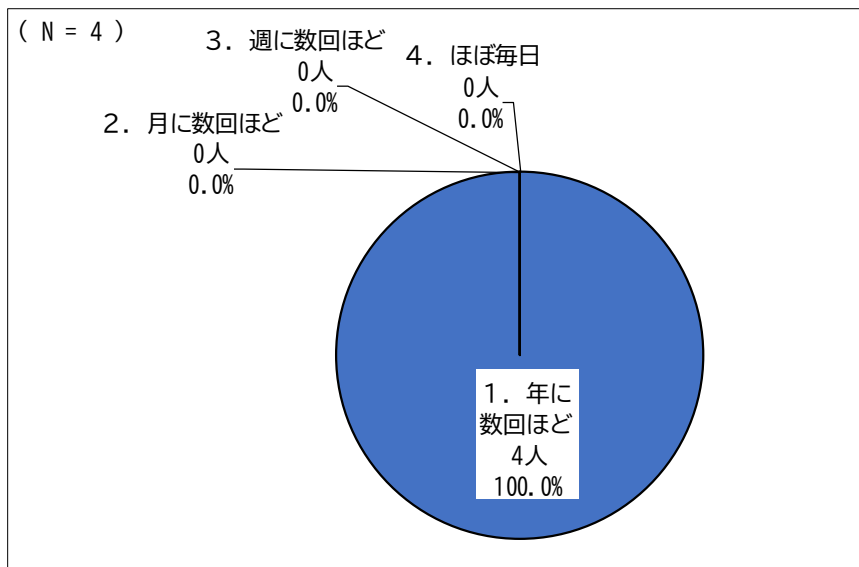


設問3：設問2で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。

隅田公園内にあるペットコミュニティエリアを利用したことがありますか。



設問4：設問3で選択肢1「利用したことがある」を選択した方にお伺いします。
どのくらいの頻度で利用していますか。過去に利用していた方は、当時どのくらいの頻度で利用していましたか。

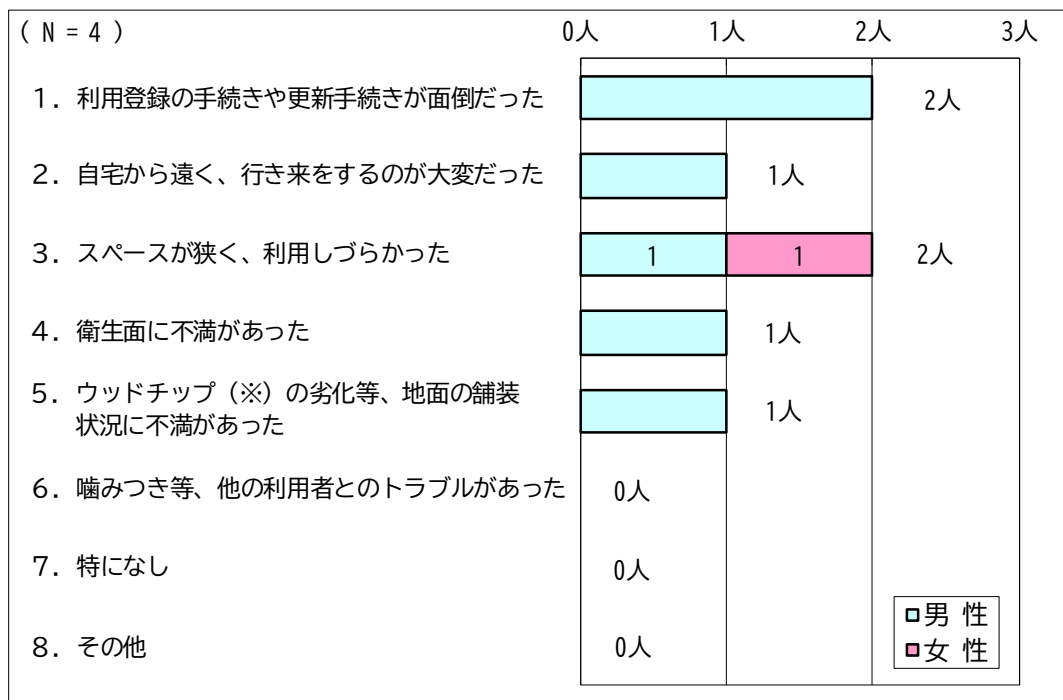


設問5：設問3で選択肢1「利用したことがある」を選択した方にお伺いします。
ペットコミュニティエリアを利用した際、どのようなことが良かったですか。
(複数回答可)

(N = 4)	0人	1人	2人	3人	4人	5人
1. 飼い主同士で交流ができた		1	1	2人		
2. 愛犬とほかの犬との交流ができた			3		1	4人
3. 愛犬と飼い主とで楽しい時間を共有できた			3		1	4人
4. 愛犬の運動不足を解消できた		1	1	2人		
5. 自宅ではできない、スペースを要するしつけの習得ができた	0人					
6. 特になし	0人					
7. その他	0人					

男性
 女性

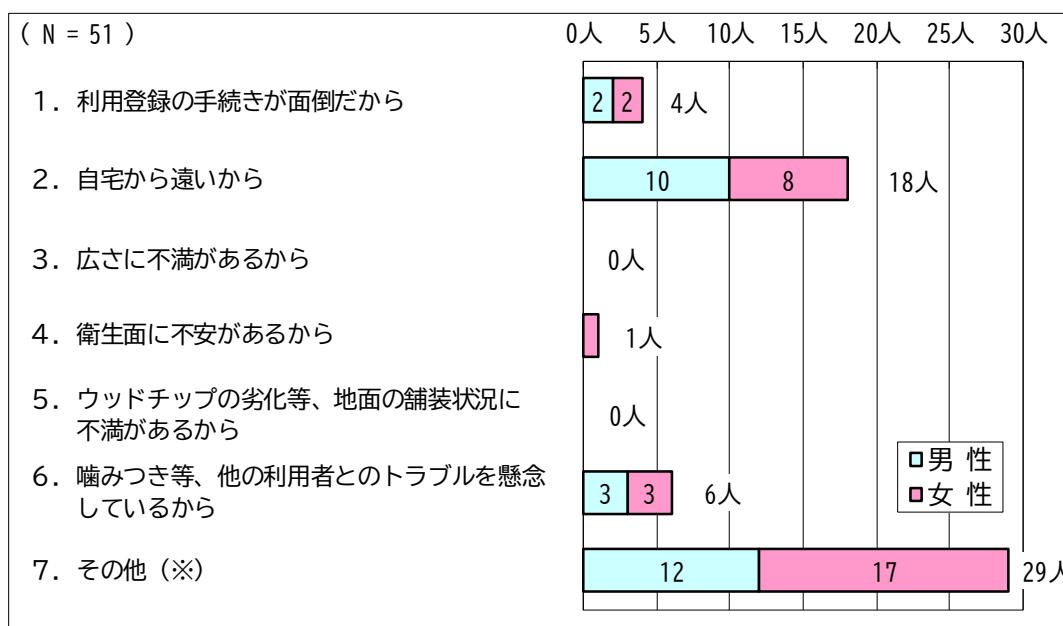
設問6：設問3で選択肢1「利用したことがある」を選択した方にお伺いします。
 ペットコミュニティエリアを利用した際、どのようなことに困りましたか。
 (複数回答可)



(※) ウッドチップ

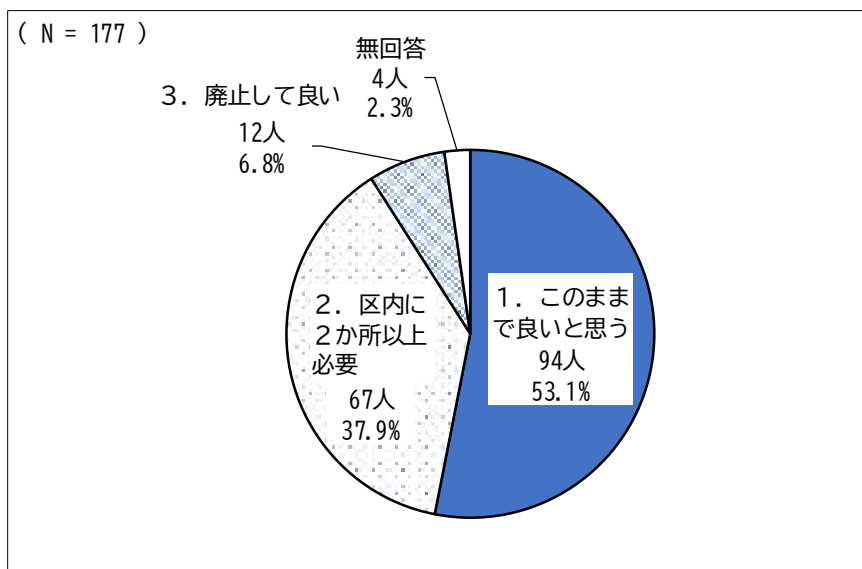
幹や枝といった木材を細かく碎きチップ状にした木質資材のことで、
 ドッグランの舗装などで利用されるもの。

設問7：設問3で選択肢2「利用したことがない」を選択した方にお伺いします。
 ペットコミュニティエリアを利用したことがない理由は何ですか。(複数回答可)

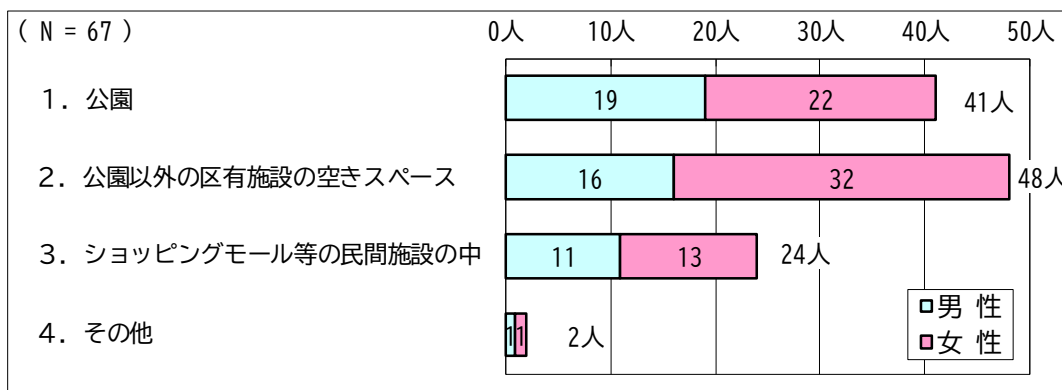


(※)「現在は犬を飼っていない」や「知らなかった」という理由が多数でした。

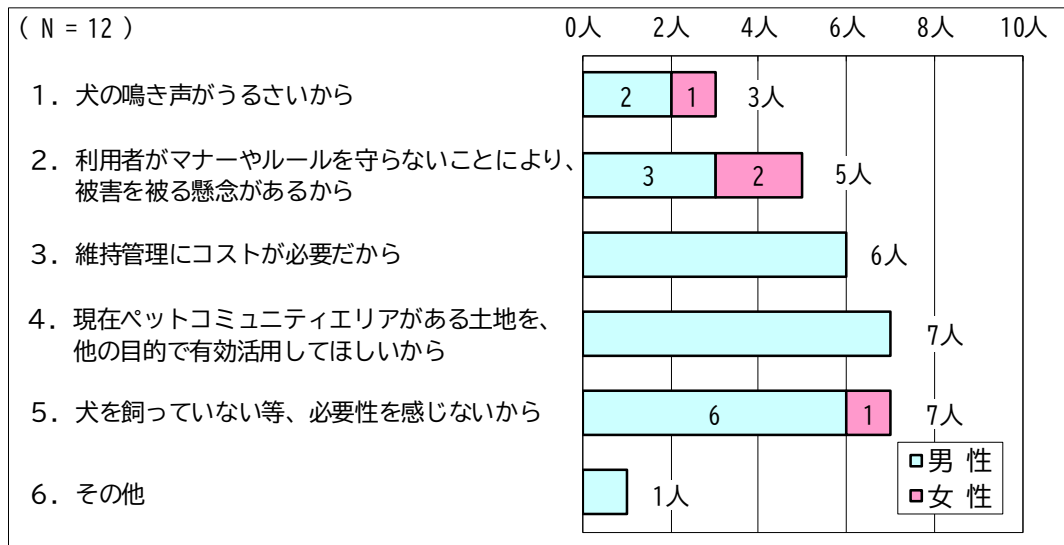
設問8：現在、区内でリードを外して犬を遊ばせることができる場所は、ペットコミュニティエリアの1か所となっています。
この状況について、どのように思いますか。



設問9：設問8で選択肢2「区内に2か所以上必要」を選択した方にお伺いします。
新しくペットコミュニティエリアを設置する場合、どのような場所に設置してほしいですか。(複数回答可)



設問10：設問8で選択肢3「廃止して良い」を選択した方にお伺いします。
その理由は何ですか。(複数回答可)



設問11：ペットコミュニティエリアについて、ご意見がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・犬を飼っている方が気軽に利用できる場所が増えたら良いと思うが、施設内だけではなく、ペットを飼う上でのルールやマナーを守り、トラブルがないようにするべきである。
- ・ペットが自由に動き回れるスペース（場所）は、ある程度必要である。
- ・公園内に設置すると、犬が嫌いな人やアレルギーがある人が公園に行きにくくなってしまう。そのため、できるだけ限られた場所が良いと思う。
- ・住宅が密集している地域では日々の犬の散歩は欠かせないものであり、このようなエリアは大切な施設だと思う。犬のストレス解消だけでなく、街中での糞尿の減少にも役立っている。
- ・家族の一員として大切にしている方には必要な場所だと思う。今後は、少しでも環境が良くなることと、飼い主がルールを守って正しく使うことを望む。
- ・ペットを思い切り走らせてあげるのは大事なことであるが、台東区は場所が限られているため、近隣の住民の方の声を聞いて慎重に事を運ぶことが大切である。
- ・生き物を尊重する上で、リードなしで遊べたり、ペットを飼っている人同士で交流できたりする場所があるとコミュニティの活性化につながる。
- ・ペットと散歩している人を道で見かけると、自分のペットから相手のペットへ向かっていき、そこでコミュニケーションが生まれる。最近は、知らない人から声をかけづらい世の中なので、ペットコミュニティエリアは必要である。
- ・犬を飼っていないなくても入れるようにしてほしい。犬が好きなので、このようなコミュニティエリアがあると眺めたり、触れたりできて良いと思う。子供も楽しめると思う。
- ・ペット（特に犬）は自由に走り回る機会があったほうが良いと思うので、区がそのような場所を用意しているのは飼い主からすると、とても喜ばしいことである。設置箇所は、遠い方には大変であるが、何箇所もとなるとまた大変だと思うので、このままで良い。
- ・台東区は、ペットと遊べる場所が少ないと聞いたことがある。区内にペットと遊べる場所が増えることは、ペットと暮らす人々の生活の充実や台東区への移住に関与するため、良い取り組みであると思う。

- ・区で運営するという事は税金が使用されるため、一部の人のみを対象とする施設への投資は不要だと思うが、既存施設を廃止し、歩道でリードを長くして遊ばせている人が増えても困るため、現状維持が良いと思う。
- ・犬を飼ったことがないので、ペットコミュニティエリアがもっと必要なのか否かの判断ができない。
- ・利用するための登録が面倒だと聞いた。
- ・ペットよりも子供がボール遊びなどを自由にできるスペースを作るほうが、優先度が高いと思う。
- ・区がニッチな事業に中途半端にコストをかけるより、知見があるペット関連業者に貸し出すなどにより収益を上げ、専門性を高めるほうが良い。
- ・受益者負担の有料施設にし、事業を黒字化させてほしい。そもそも行政がコストを投下する意義が全く理解できない。
- ・最近犬よりも猫を飼っている方が多いとテレビで見たので、犬だけを手厚くするのは不平等のように思う。
- ・犬のペットコミュニティエリアは、有料施設が他の区にあるため現状のまま継続してほしいが、他の場所に増設する必要性は感じられない。
- ・飼い主のマナーに問題点があると思う。こうした施設を利用する際、利用者からマナー遵守のための誓約書等を徴取し、違反事項を起こした際は何らかの処置を課したほうが、他の利用者の安心安全が図れる。
- ・リードを外すのは決められたエリアだけと限定してほしい。犬が苦手な人にとっては、犬がいつ寄ってくるのか、また、襲われるのではないかと恐々としている。
- ・犬を飼っていないので利用はしていないが、ペットコミュニティエリアの横を通った際に、夏は鬱蒼としていて周りから見えにくく、入るのが少し怖いと感じた。
- ・近所の小さな公園に犬がたくさん集まって、子供が遊びづらいことがあった。そのため、ペットコミュニティエリアのような目的が明確な場所が必要だと思う。
- ・ペットを飼っていない立場としては、自宅周辺に設置されると騒音や衛生面が少し気になる。利用者と周辺住民の双方に配慮した運営であるべきである。

【生涯学習について】

今回の調査では、過去1年間に生涯学習をしたことが「ある」と回答された方の割合が約6割で、その目的としては「楽しむことで人生を豊かにするため」「日常生活に役立てるため」「健康の維持や体力づくりのため」などの回答が多く見られました。一方で、生涯学習をしたことが「ない」と回答された方は、「仕事で時間がない」「きっかけがない」「育児、介護などで時間がない」など、時間やきっかけがないという理由が多く伺えました。

また、生涯学習を行う施設としての社会教育センターや社会教育館を利用したことのある方の割合は約3割であったため、生涯学習活動に取り組むきっかけづくりとなる入門的な講座や活動について、わかりやすく興味をひくような情報発信が必要であると考えております。

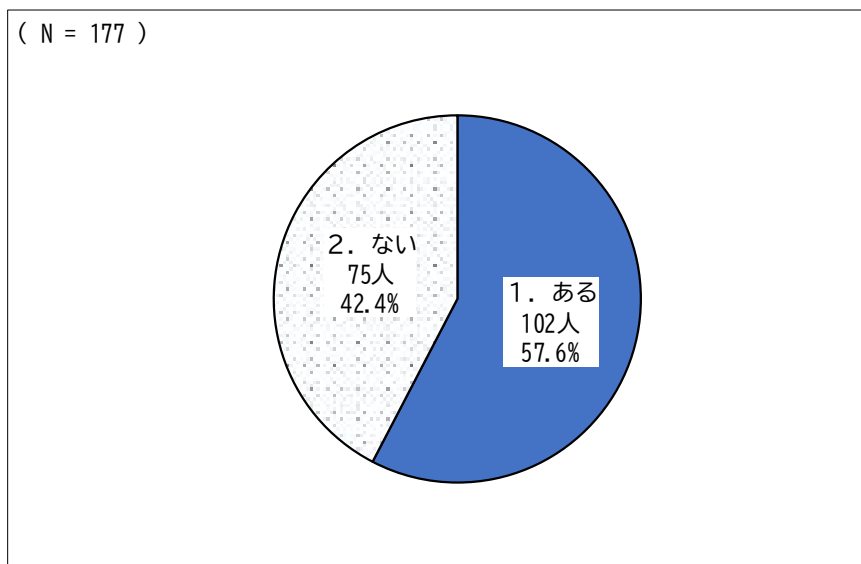
今回の調査結果を参考に、より多くの方が生涯学習活動に興味を持ち、気軽に参加していただけるよう適切に周知を図り、多様な学習機会を通じて学んだ成果を地域活動等に活かしていけるよう支援を図ってまいります。

(教育委員会 生涯学習課)

設問12：過去1年間に生涯学習（※）をしたことがありますか。

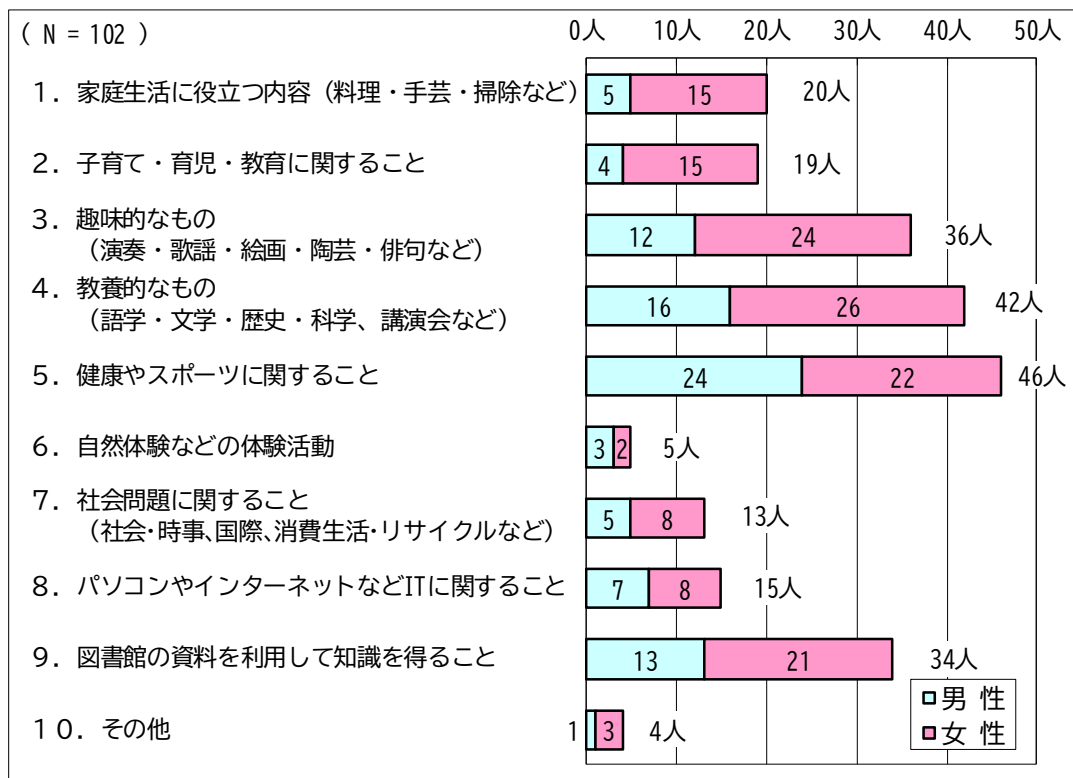
(※) 生涯学習

学校教育、文化・スポーツ活動、趣味活動をはじめ生涯にわたって行われるあらゆる学習活動のこと。



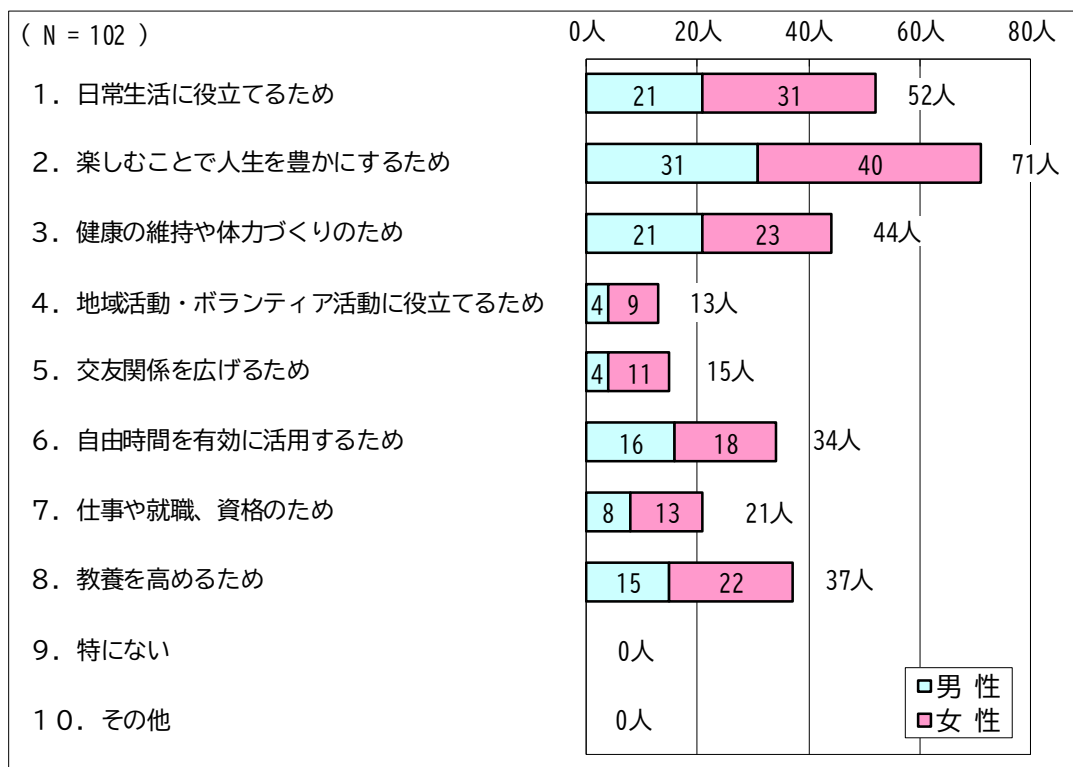
設問13：設問12で選択肢1「ある」を選択した方にお伺いします。

過去1年間に行った生涯学習はどのようなものですか。(複数回答可)

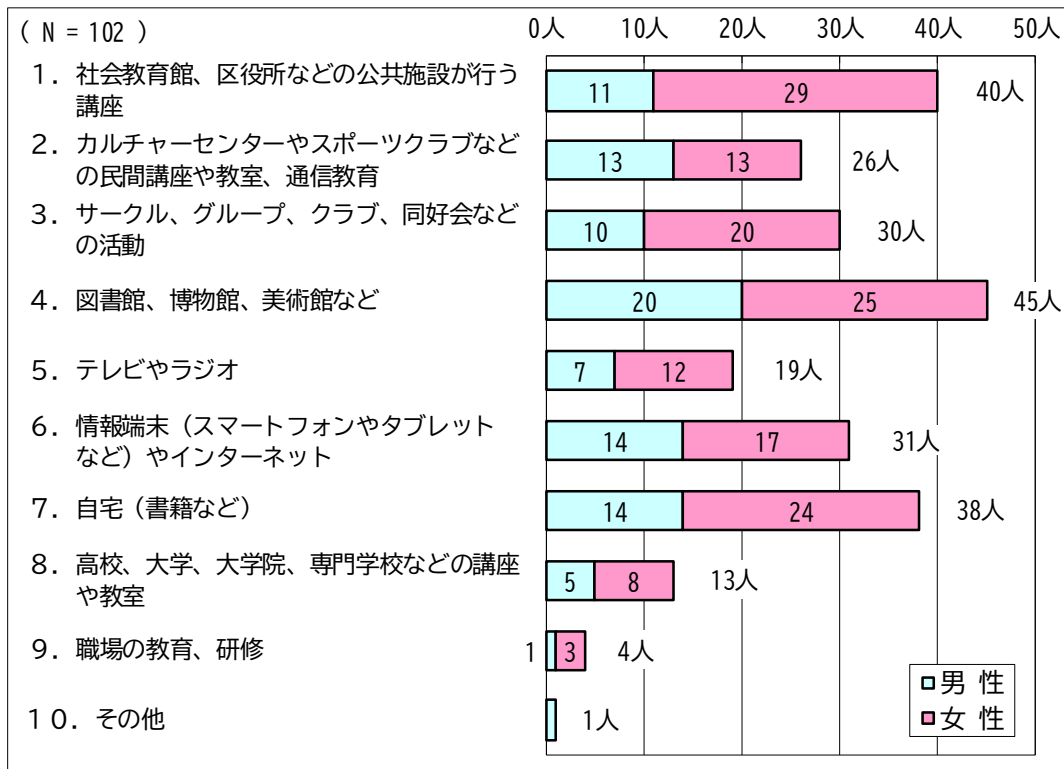


設問14：設問12で選択肢1「ある」を選択した方にお伺いします。

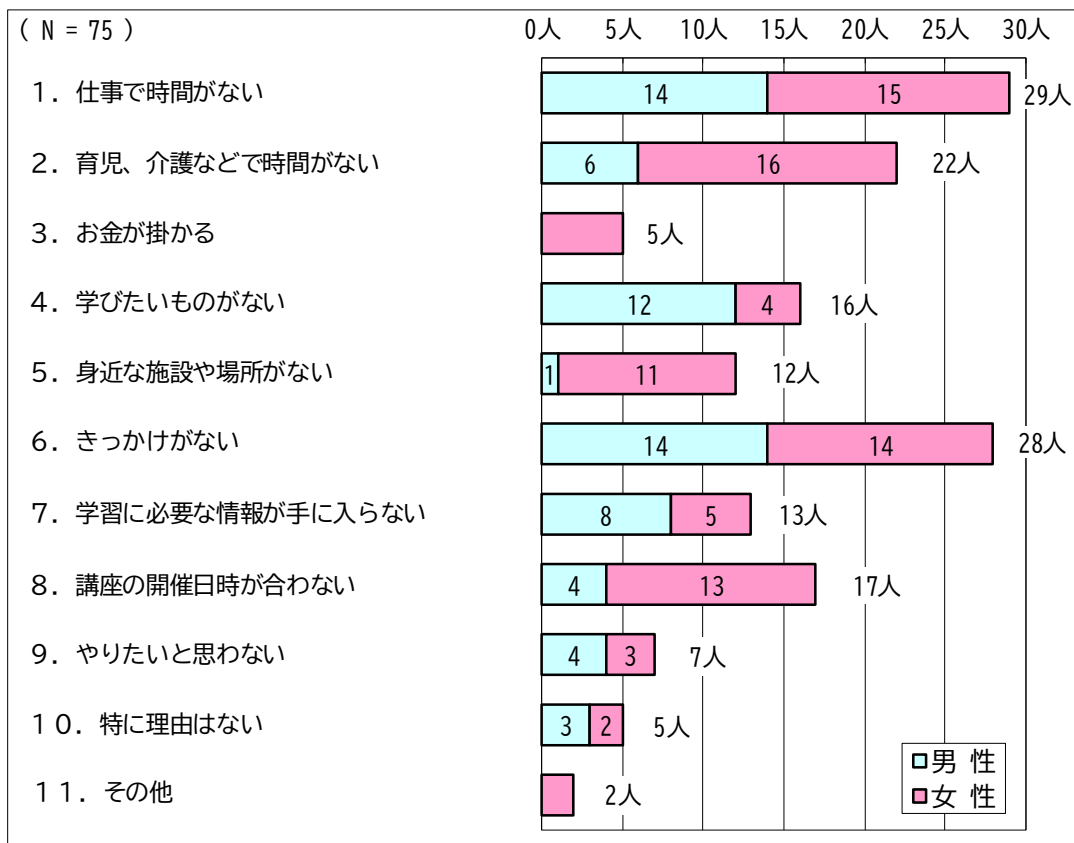
あなたが、生涯学習を行う目的は何ですか。(複数回答可)



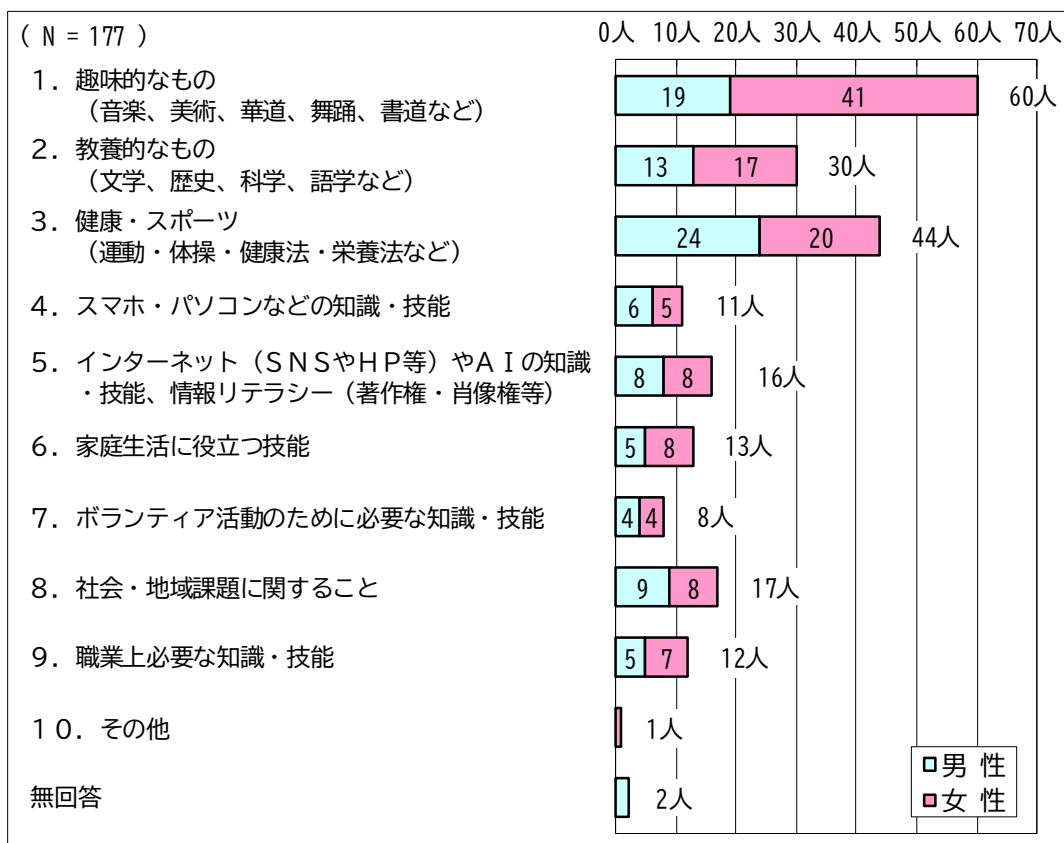
設問15：設問12で選択肢1「ある」を選択した方にお伺いします。
 どのような場所や形態で生涯学習を行いましたか。(複数回答可)



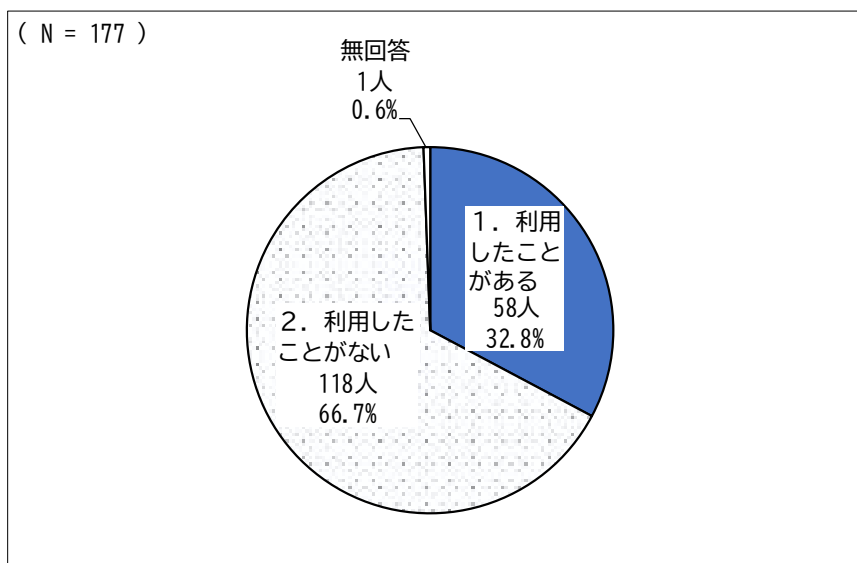
設問16：設問12で選択肢2「ない」を選択した方にお伺いします。
 過去1年間に生涯学習をしなかった理由は何ですか。(複数回答可)



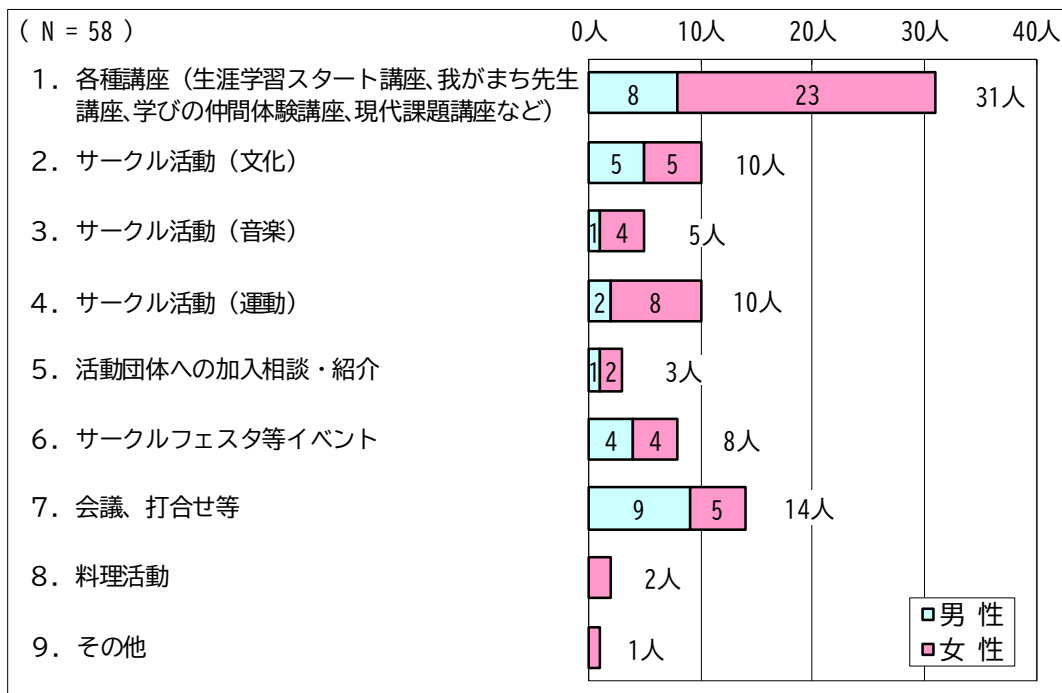
設問17：今後どのような生涯学習を行いたいですか。(複数回答可)



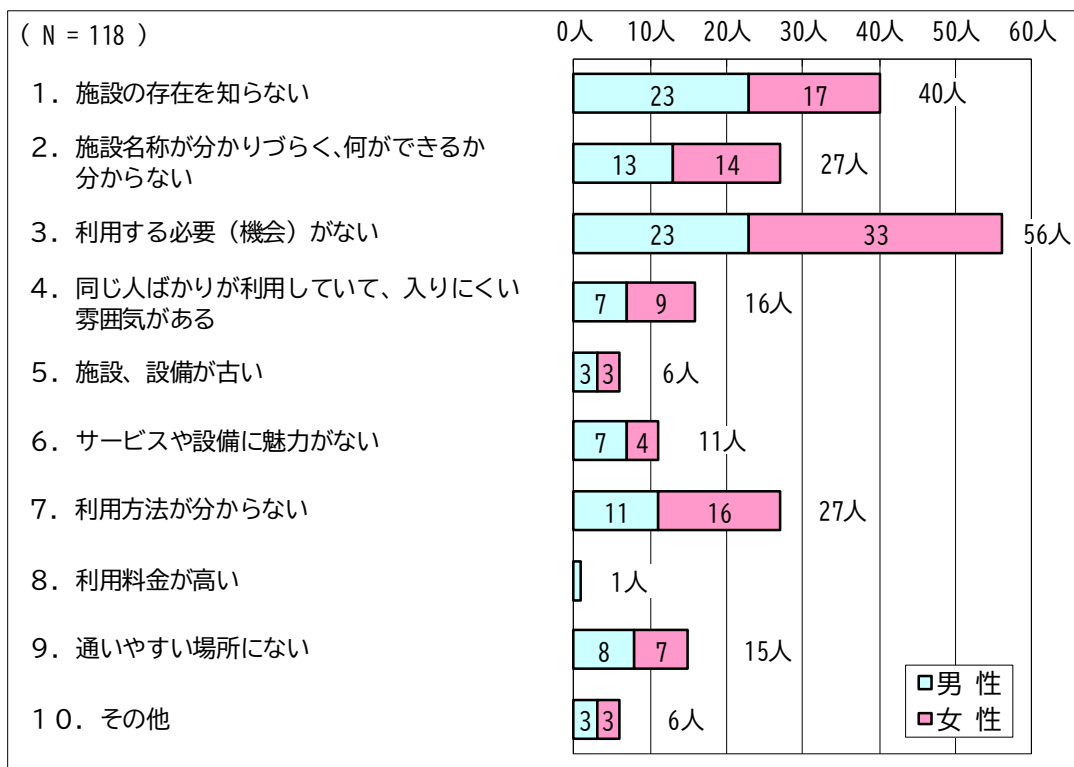
設問18：区内には、生涯学習を行う施設として、社会教育センターと4つの社会教育館があります。社会教育センター等ではホールや会議室、和室などの貸出とともに、区民の皆さんの学習・文化活動のきっかけ作りのため、各種講座やイベントなどを実施しています。
あなたはこれまでに社会教育センターや社会教育館を利用したことがありますか。



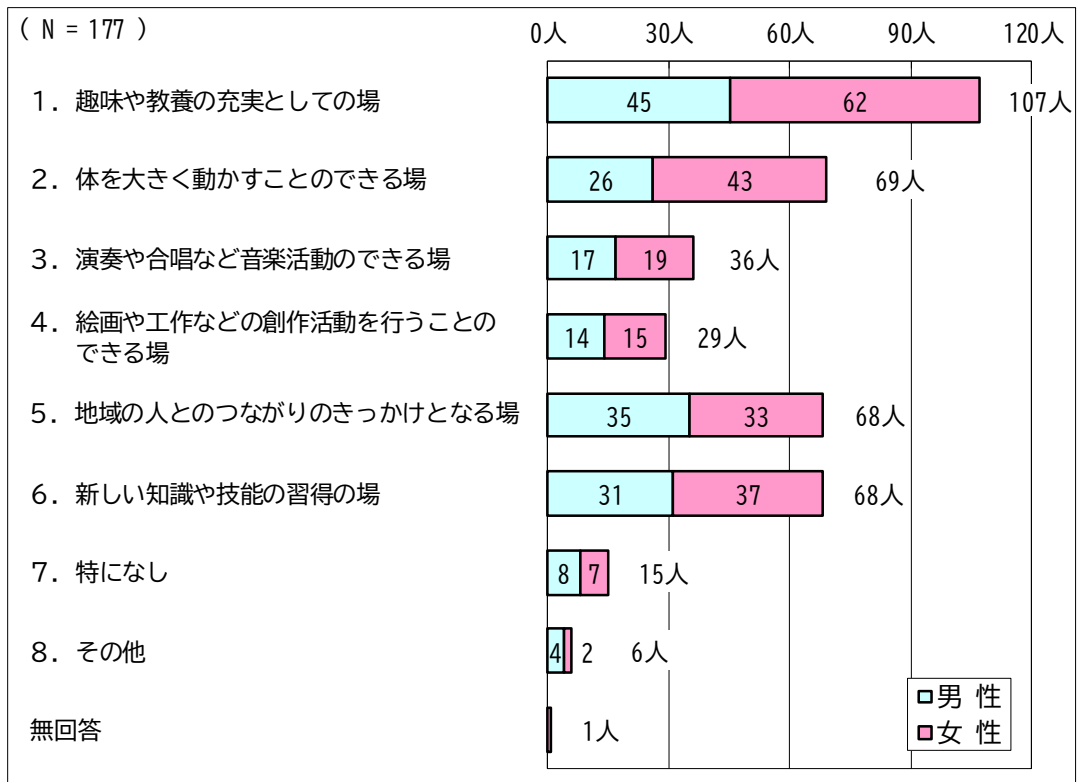
設問19：設問18で選択肢1「利用したことがある」を選択した方にお伺いします。
 社会教育センターや社会教育館をどのような用途で利用しましたか。(複数回答可)



設問20：設問18で選択肢2「利用したことがない」を選択した方にお伺いします。
 その理由は何ですか。(複数回答可)



設問21：今後の社会教育センターや社会教育館に求めるものは何ですか。（複数回答可）



設問22：生涯学習について、ご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・団体等には参加したことがないが、地域の人とのつながりを作るために参加してみたい。
- ・今は子育てなどで忙しくしているが、将来的に地域の人と人のつながりをつくる場として利用できたら良いと思う。
- ・利用者の範囲が限られている場合が多いが、他の地域の方との交流が広がっているので、他地域の方も利用できるようにしてほしい。
- ・高齢者の方の生涯学習の機会が多く感じられるので、働いている人や子育て世代の若い人にこそ、生涯学習ができる機会があれば良いのにと感じている。
- ・習い事になると、親子で参加できるものがあまりないので、親子でできるともっと良いと思う。
- ・幼児向け、親向けのイベントを増やしてもらえたら嬉しい。
- ・区のホームページを見るが、活動内容の詳細までは書いていないので、そういうことが知れる機会がほしい。
- ・サークルフェスタは子供と地域の方が触れ合う良い機会であったと感じる。
- ・講座が平日昼間だけでなく、日曜日の昼間にもあればぜひ利用したい。
- ・ある程度事前の情報がweb等で見ることはできないと、なかなか参加のハードルが高い。
- ・デジタル化を円滑に推進するために、デジタルを使いこなせるようにしっかり指導してほしい。
- ・AI教育を積極的に行ってほしい。
- ・Excel VBAや実用英会話、英文作成など高度な学習がしたい。
- ・サークル活動の内容を広報紙などで宣伝してもらいたい。

- ・自身で学習できるものときっかけが必要なものがあるため、区が企画して初心者クラスや講義を用意してくれるのは助かる。
- ・平日日中の講義が多く、一般的な勤務形態で仕事をしている人は参加できない割合が高いため、土日に若者を対象とした講義を増やしてほしい。
- ・“生涯学習”という名称が少し堅く、高齢者向けの印象があり、若い世代は興味を持ちにくいと感じる。内容が伝わる発信があると良いと思う。
- ・地域の人たちと気軽に交流できるような講座やイベントがあると、生涯学習という点だけでなく、長く続くつながりが作れて良いのではと思っている。
- ・初回の参加の敷居が高い。参加しやすいような広報活動や内容をお願いしたい。また、ペットや子供と参加することで地域の人とのつながりのきっかけとなると、継続的な参加にもなる可能性があると思う。
- ・社会教育センターの情報を知らないなので、参加する機会がなかった。区のホームページで探して参加してみたい。
- ・衛生面、清掃管理が行き届いていて気持ちが良い。
- ・インターネット環境があればいくらかでも情報は収集できる。社会教育館などは防音壁、鏡などを配置して、音出しができる環境を作してほしい。そうしたら歌、合奏、ダンスができる空間ができ、集客もできる。
- ・各地区のイベントをつなぎオンライン活用も検討してほしい。
- ・いろいろな情報がどこでわかるかがわからない。サークルとかも含めて教えてほしい。
- ・講座などいつも気になってはいるもののまだ入れずにいるが、これから先、育児が落ち着いた時などに利用したいと考えている。
- ・年齢の垣根をこえて様々な方と触れ合うことができそうでとても魅力を感じている。これからもいろいろな講座やサークルができていくと嬉しい。
- ・どうやって利用したら良いのかなどわからないが、気軽に申請や利用ができるならぜひ利用したいと思った。

【認知症について】

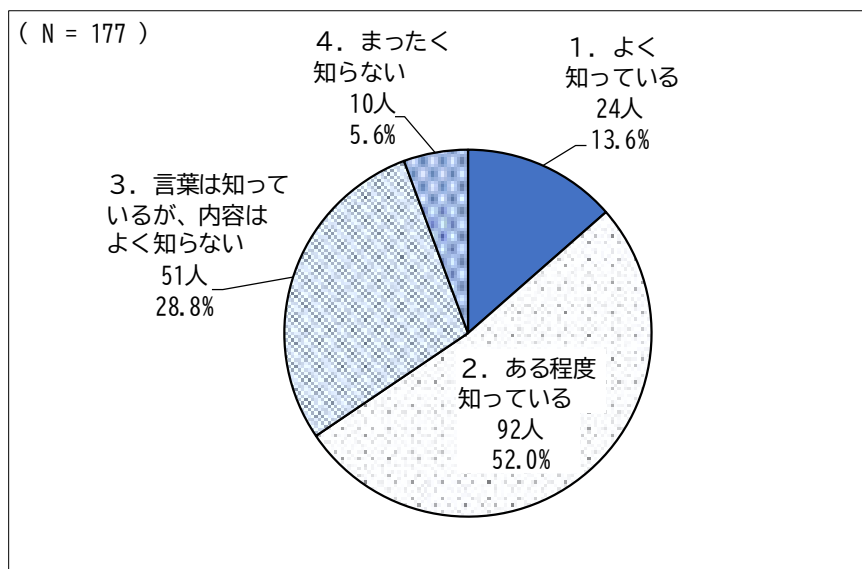
今回の調査では、区の認知症に関する取り組みについて、5割以上の方が「知っているものはない」と回答しており、また、認知症になった際の相談窓口について、7割以上の方が「知らない」と回答していることから、区の取り組みや相談窓口の周知の必要性があることがわかりました。

また、認知症に関して区が行うべき取り組みとして、約5割の方が「早期発見・早期診断のための仕組みづくり」や「認知症への正しい理解を広める啓発活動」が必要だとのご意見をいただきました。

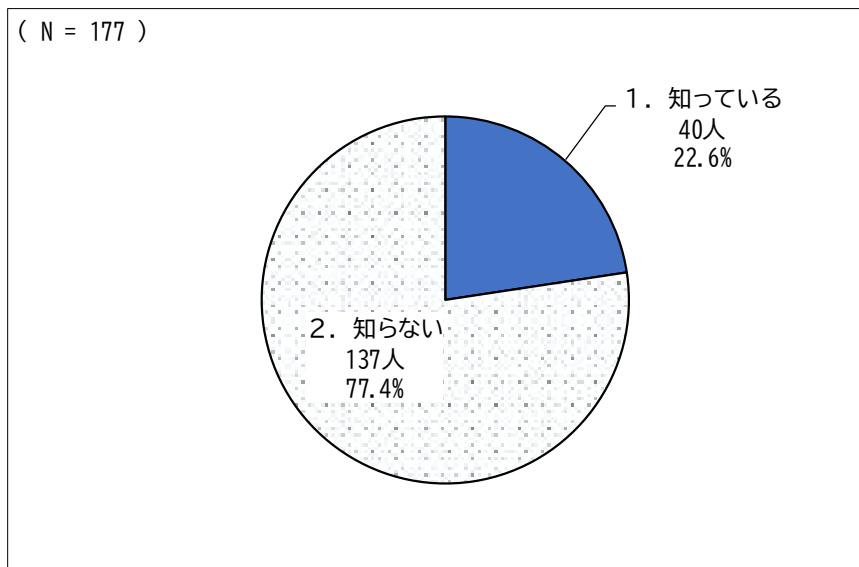
今後は、調査結果を踏まえ、幅広い方が認知症について正しく理解し、認知症になっても安心して暮らし続けられるよう、周知・支援の充実を図ってまいります。

(福祉部 高齢福祉課)

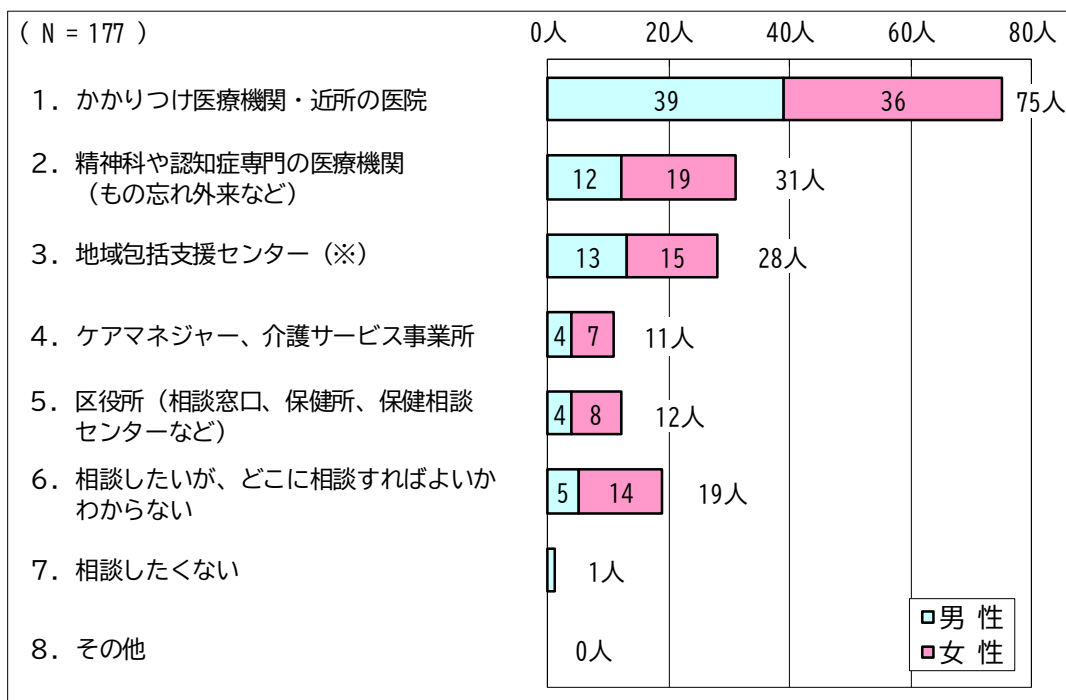
設問23：認知症という病気や、認知症のある人の生活・支援方法について、どの程度知っていますか。



設問24：認知症になった際の相談窓口を知っていますか。

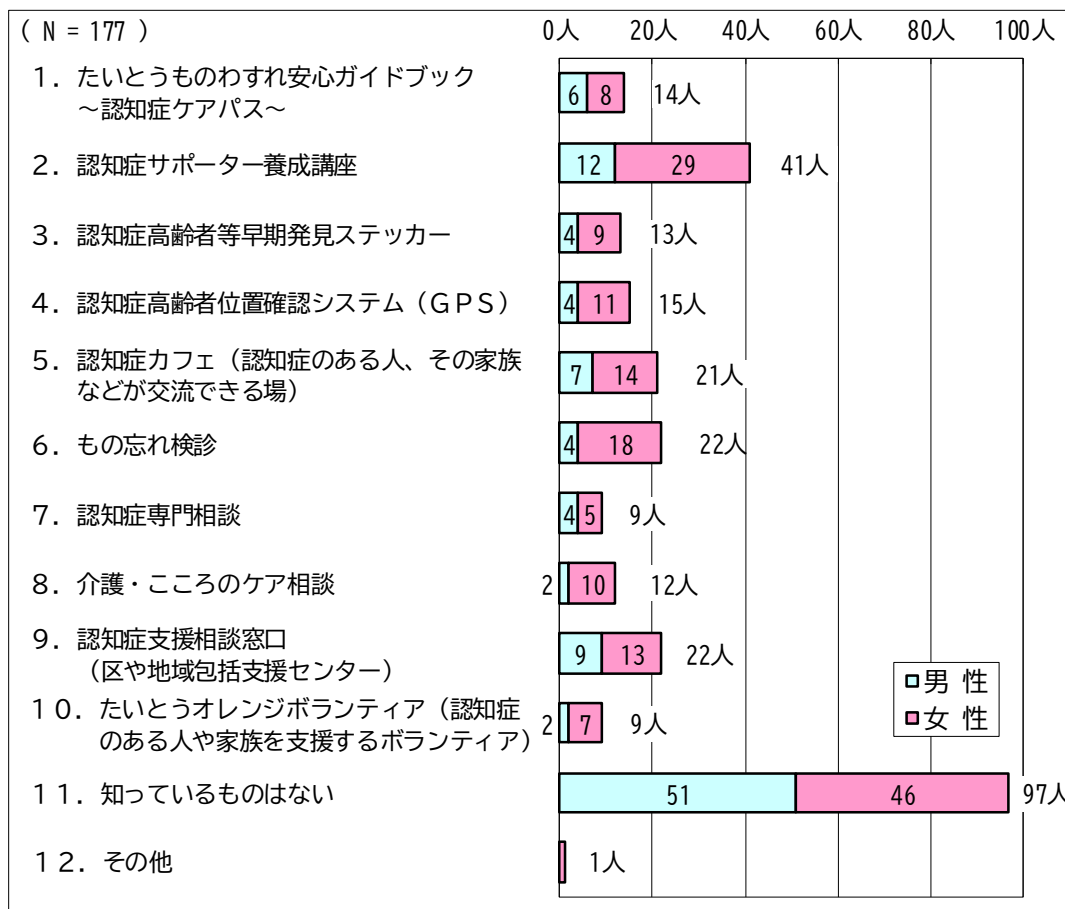


設問25：あなたが認知症になった（かもしれない）ときに、家族以外でどこに相談したいと思いますか。

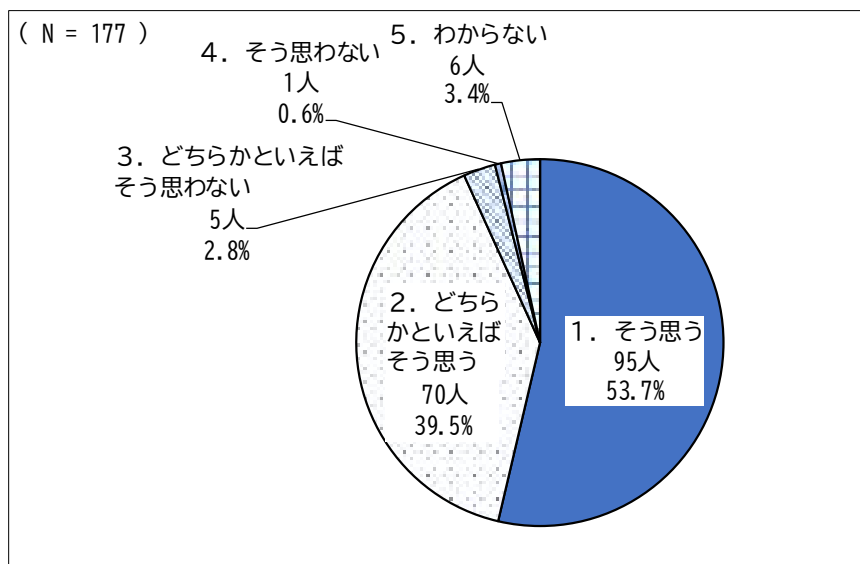


(※) 地域包括支援センター
高齢者の方の相談や介護サービスの手続き・調整を行っている相談窓口。

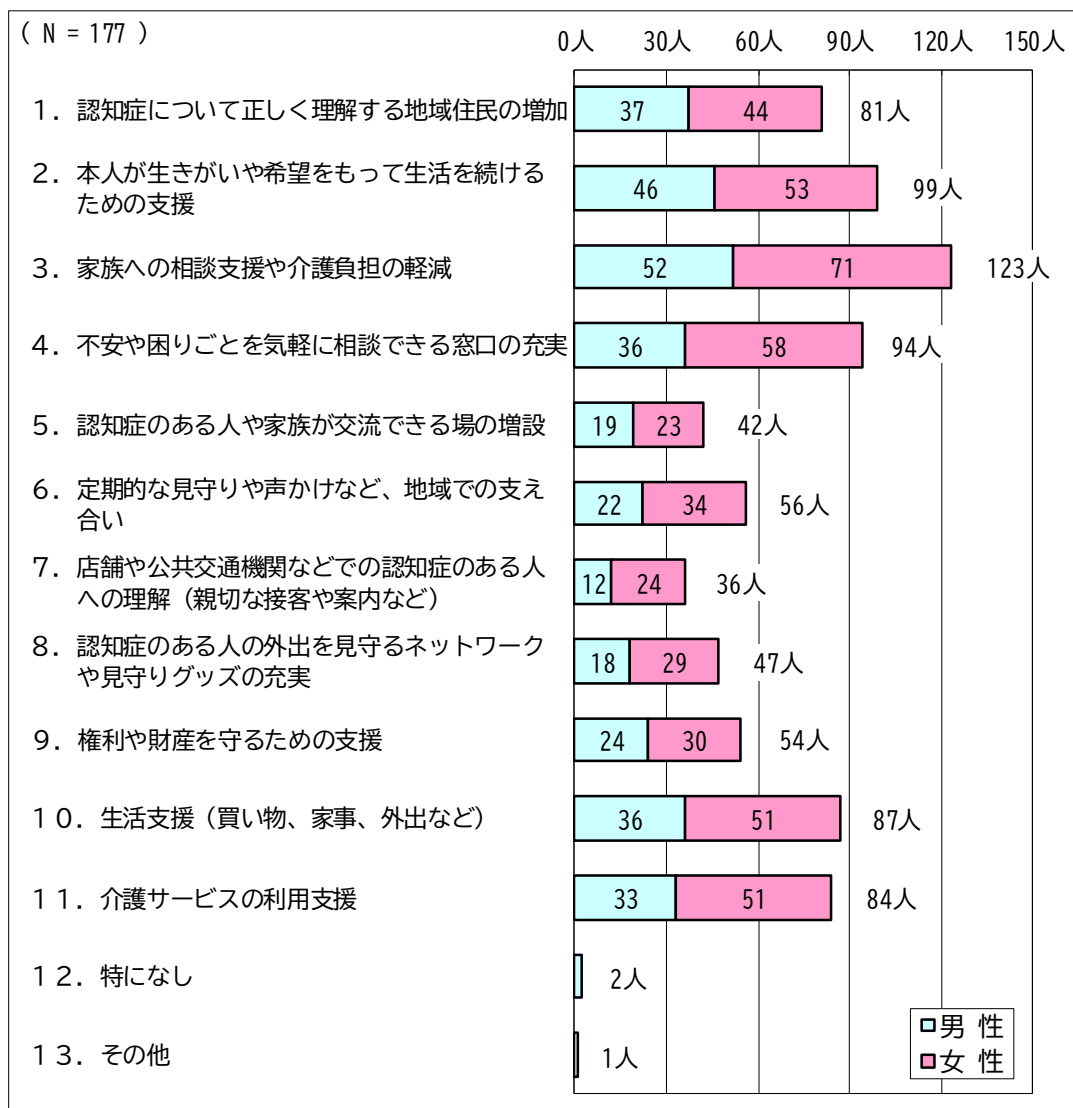
設問26：区の認知症に関する取り組みについて、知っているものはありますか。
 (複数回答可)



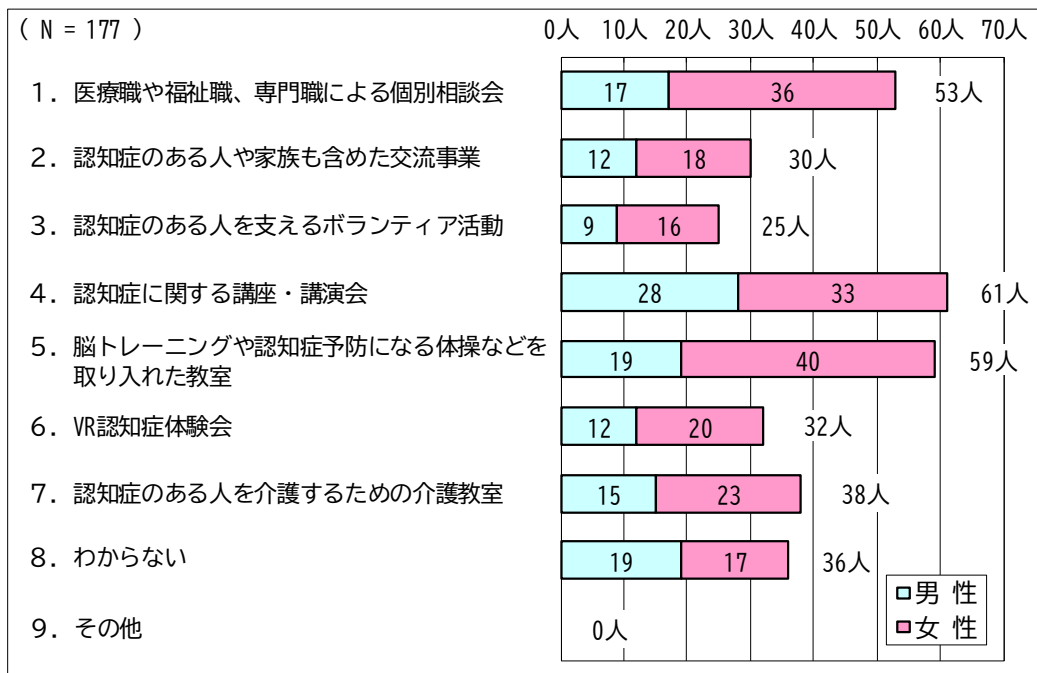
設問27：令和6年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」では、認知症になってもできること・やりたいことがあり、希望をもって自分らしく暮らすことができるという「新しい認知症観」が示されました。
 自身が認知症になっても、本人が望む生活 (趣味や役割など) を続けたいと思いますか。



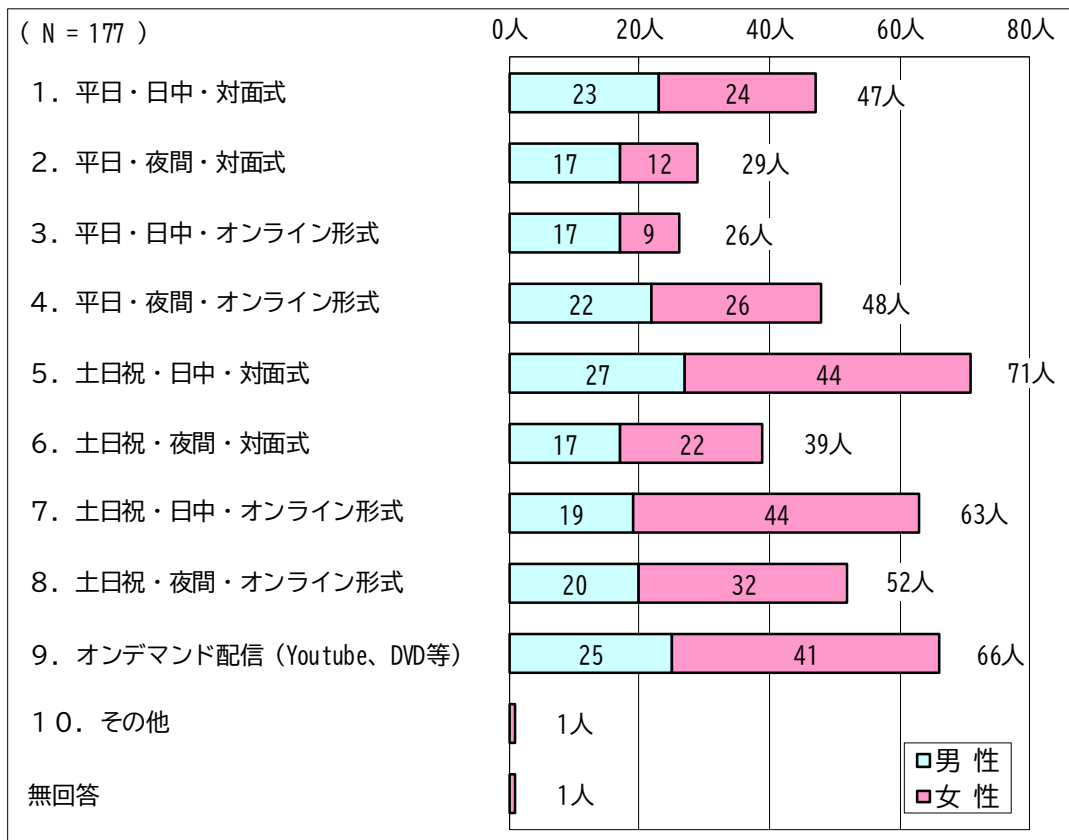
設問28：あなたや身の周りの人が認知症になった場合、あなたや家族が必要だと思うことや支援はどれですか。（複数回答可）



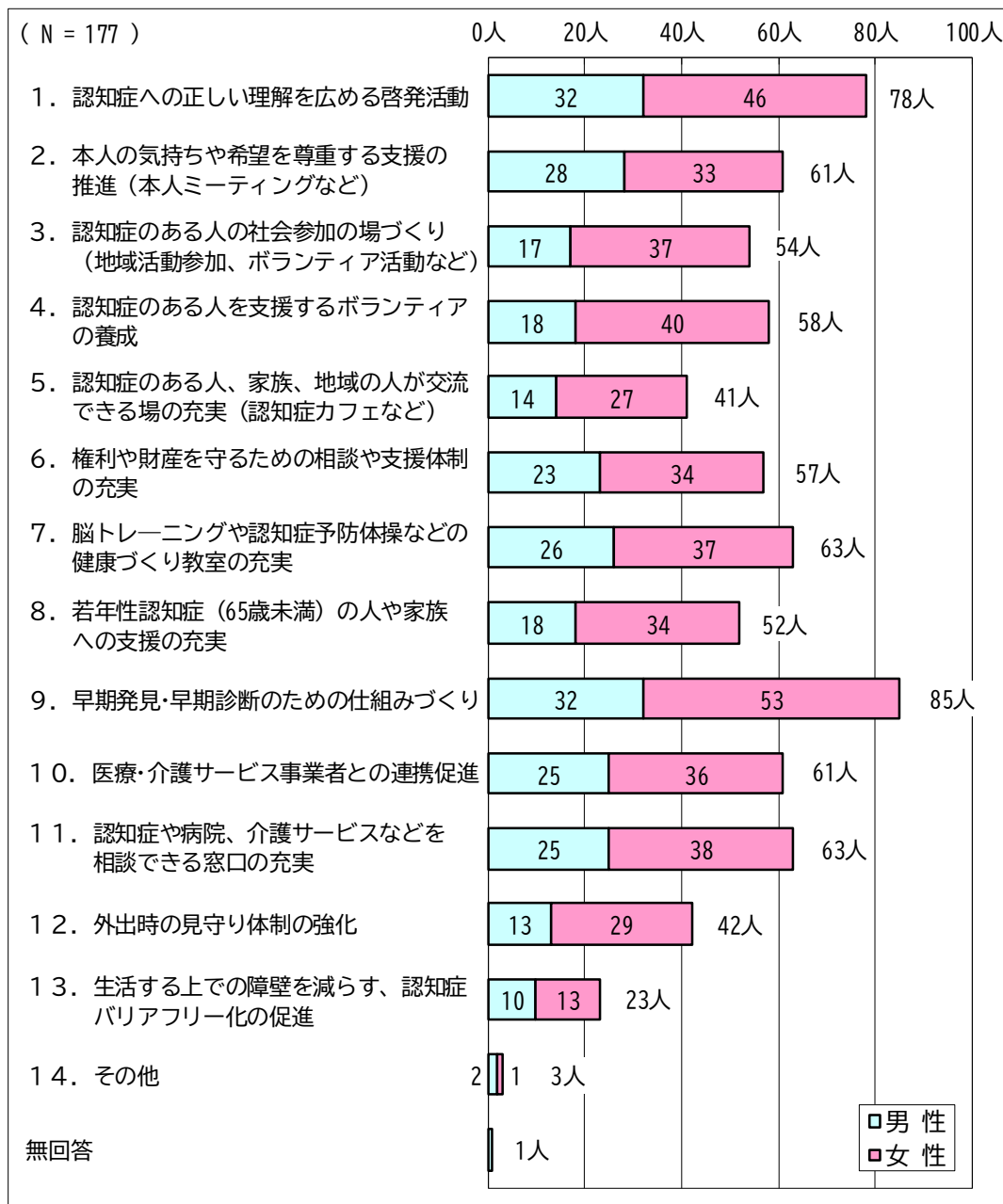
設問29：認知症に関するイベントを行う場合、参加してみたいものはどれですか。
(複数回答可)



設問30：認知症に関する講座を実施する場合、受講しやすい形態はどれですか。(複数回答可)



設問31：認知症に関して、区で行う取り組みのうち、どのようなものが必要だと思いますか。（複数回答可）



設問32：区の認知症に関する取り組みについて、ご意見がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・以前地域包括センターへ相談した際、とても親切に案内をしてもらったことがあり、非常に感謝している。地域包括支援センターについて、もっと積極的に周知を行ったほうが良い。
- ・認知症に対しての理解や対応への知識がないため、広報紙等を活用した周知啓発を行ってほしい。
- ・自身が認知症になった場合、また家族が認知症になった場合の両方について、正しい知識や利用できる公共サービスを学べる講座・セミナーを一層充実してほしい。
- ・認知症の当事者や、その家族が孤立しない地域づくりに協力していきたい。
- ・介護サービス単独では十分に対応できないことがあるため、ボランティアによる独居の認知症の方への支援や、負担が大きい家族への支援が充実すると良い。
- ・台東区は高齢者人口が多いこともあり、認知症や介護の問題に素早く取り組んでいると思う。認知症は誰でもかかる可能性のある病気であることから、皆がいつまでも暮らしやすい地域にしてほしいと思う。
- ・「家族が認知症になった時、まずどこへ相談すれば良いのか」を教えてほしい。両親が健康なうちに、先に対策できることはあるのか、やっておくべきことは何かを知りたい。そういった講座や窓口はあるのか。
- ・認知症の方を介護するのは大変だと聞いた。認知症のある方のサポートだけでなく、家族や親族等周りの方へのサポートも重要だと感じている。
- ・認知症が疑われても受診につなげることが難しい場合もあるため、検診やセルフチェック等が必要だと思う。早期発見、治療、予防ができる対応策を知りたい。
- ・両親が認知症だが、介護する側も仕事と介護とで疲弊している。介護者慰労の取り組みも充実してほしい。自宅近くに地域包括支援センターや認知症カフェがあるのは、行きやすいため助かっている。

- ・まずは認知症に関する正しい理解を広めるための講座実施が有効だと思う。家族に高齢者がいても、認知症になっていなければ区の取り組みについて知らないことばかりである。自身もこれから認知症になった時、家族に負担とならないよう、今から知っておかなければならないと思った。
- ・認知症は高齢になると誰もがなる病気との認識でいる。発症前に予防的に参加できる活動やプログラムがあると良いと思う。
- ・認知症について、真剣に考えたことがなかった。これを機会に、自分にも周りの方にも可能性があることとして考えていきたいと思う。
- ・高齢化社会において、介護サービスや医療機関等とどのような連携が行われているのか不安である。区でも様々な講座が開かれているが、その中でどのように連携しているのか事例を紹介してほしい。
- ・自身が医師として認知症診療に携わっている。介護している家族支援も重要であり、特にまだ働いている世代の子供が仕事を辞めないようにできる体制が必要。
- ・周りの家族が気づいた時に、気軽に区へ相談して具体的な対応策を教えてくれるような仕組みになると良い。
- ・区の取り組みとして、認知症になった際に利用できる施設や支援制度について、費用や入居条件も含め分かりやすく案内してほしい。
- ・長寿社会になり、今後認知症になる人も増加すると思うため、認知症に関する知識を学び、認知症のある方の家族や地域の人々との交流を深め、助けあっていきたい。
- ・数年前から区主催のイベントに参加しているが、認知症に関する知識や健康維持の方法など、貴重な助言があり大変ありがたい。今後は、更に充実したプログラム・企画を期待している。
- ・認知症は誰でもなりうる病気だが、漠然と知っていても具体的にはわからない点が多い。自身にその兆候が見られたらどうしたら良いか、また、街で認知症の方を見かけたらどのようにしたら良いか、具体的症例の講座を実施してほしい。
- ・他区ではあるが、友人の親が認知症でデイサービス等をお願いし、体力的・精神的負担が軽減したと言っていた。家族が認知症になった場合、どこに相談すれば良いか、どのようなサポートを受けられるかを知りたいと思う。

II アンケート質問と回答

【ペットコミュニティエリアについて】

- 設問1:** 区では、愛犬を通じた飼い主同士の新たなコミュニティの場の醸成を目的とし、平成26年より隅田公園内にペットコミュニティエリアを設置しています。あなたはこのエリアを知っていますか。
- | | | |
|----------|------|--------|
| 1. 知っている | 34人 | 19.2% |
| 2. 知らない | 143人 | 80.8% |
| 全体 | 177人 | 100.0% |
- 設問2:** あなたは犬を飼っていますか。
- | | | |
|----------------|------|--------|
| 1. 飼っている | 14人 | 7.9% |
| 2. 過去に飼っていた | 41人 | 23.2% |
| 3. 今まで飼ったことがない | 122人 | 68.9% |
| 全体 | 177人 | 100.0% |
- 設問3:** 設問2で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。隅田公園内にあるペットコミュニティエリアを利用したことがありますか。
- | | | |
|--------------|-----|--------|
| 1. 利用したことがある | 4人 | 7.3% |
| 2. 利用したことがない | 51人 | 92.7% |
| 全体 | 55人 | 100.0% |
- 設問4:** 設問3で選択肢1「利用したことがある」を選択した方にお伺いします。どのくらいの頻度で利用していますか。過去に利用していた方は、当時どのくらいの頻度で利用していましたか。
- | | | |
|-----------|----|--------|
| 1. 年に数回ほど | 4人 | 100.0% |
| 2. 月に数回ほど | 0人 | 0.0% |
| 3. 週に数回ほど | 0人 | 0.0% |
| 4. ほぼ毎日 | 0人 | 0.0% |
| 全体 | 4人 | 100.0% |
- 設問5:** 設問3で選択肢1「利用したことがある」を選択した方にお伺いします。ペットコミュニティエリアを利用した際、どのようなことが良かったですか。(複数回答可)
- | | | |
|--------------------------------|-----|--------|
| 1. 飼い主同士で交流ができた | 2人 | 50.0% |
| 2. 愛犬とほかの犬との交流ができた | 4人 | 100.0% |
| 3. 愛犬と飼い主とで楽しい時間を共有できた | 4人 | 100.0% |
| 4. 愛犬の運動不足を解消できた | 2人 | 50.0% |
| 5. 自宅ではできない、スペースを要するしつけの習得ができた | 0人 | 0.0% |
| 6. 特になし | 0人 | 0.0% |
| 7. その他 | 0人 | 0.0% |
| 全体 | 12人 | |

設問6: 設問3で選択肢1「利用したことがある」を選択した方にお伺いします。
 ペットコミュニティエリアを利用した際、どのようなことに困りましたか。(複数回答可)

1. 利用登録の手続きや更新手続きが面倒だった	2人	50.0%
2. 自宅から遠く、行き来をするのが大変だった	1人	25.0%
3. スペースが狭く、利用しづらかった	2人	50.0%
4. 衛生面に不満があった	1人	25.0%
5. ウッドチップの劣化等、地面の舗装状況に不満があった	1人	25.0%
6. 噛みつき等、他の利用者とのトラブルがあった	0人	0.0%
7. 特になし	0人	0.0%
8. その他	0人	0.0%
全体	7人	

設問7: 設問3で選択肢2「利用したことがない」を選択した方にお伺いします。
 ペットコミュニティエリアを利用したことがない理由は何ですか。(複数回答可)

1. 利用登録の手続きが面倒だから	4人	7.8%
2. 自宅から遠いから	18人	35.3%
3. 広さに不満があるから	0人	0.0%
4. 衛生面に不安があるから	1人	2.0%
5. ウッドチップの劣化等、地面の舗装状況に不満があるから	0人	0.0%
6. 噛みつき等、他の利用者とのトラブルを懸念しているから	6人	11.8%
7. その他	29人	56.9%
全体	58人	

設問8: 現在、区内でリードを外して犬を遊ばせることができる場所は、ペットコミュニティエリアの1か所となっています。
 この状況について、どのように思いますか。

1. このままで良いと思う	94人	53.1%
2. 区内に2か所以上必要	67人	37.9%
3. 廃止して良い	12人	6.8%
無回答	4人	2.3%
全体	177人	100.0%

設問9: 設問8で選択肢2「区内に2か所以上必要」を選択した方にお伺いします。
 新しくペットコミュニティエリアを設置する場合、どのような場所に設置してほしいですか。(複数回答可)

1. 公園	41人	61.2%
2. 公園以外の区有施設の空きスペース	48人	71.6%
3. ショッピングモール等の民間施設の中	24人	35.8%
4. その他	2人	3.0%
全体	115人	

設問10: 設問8で選択肢3「廃止して良い」を選択した方にお伺いします。
その理由は何ですか。（複数回答可）

1. 犬の鳴き声がうるさいから	3人	25.0%
2. 利用者がマナーやルールを守らないことにより、被害を被る懸念があるから	5人	41.7%
3. 維持管理にコストが必要だから	6人	50.0%
4. 現在ペットコミュニティエリアがある土地を、他の目的で有効活用してほしいから	7人	58.3%
5. 犬を飼っていない等、必要性を感じないから	7人	58.3%
6. その他	1人	8.3%
全体	29人	

設問11: ペットコミュニティエリアについて、ご意見がありましたらご記入ください。

【生涯学習について】

設問12: 過去1年間に生涯学習をしたことがありますか。

1. ある	102人	57.6%
2. ない	75人	42.4%
全体	177人	100.0%

設問13: 設問12で選択肢1「ある」を選択した方にお伺いします。
過去1年間に行った生涯学習はどのようなものですか。（複数回答可）

1. 家庭生活に役立つ内容（料理・手芸・掃除など）	20人	19.6%
2. 子育て・育児・教育に関すること	19人	18.6%
3. 趣味的なもの（演奏・歌謡・絵画・陶芸・俳句など）	36人	35.3%
4. 教養的なもの（語学・文学・歴史・科学、講演会など）	42人	41.2%
5. 健康やスポーツに関すること	46人	45.1%
6. 自然体験などの体験活動	5人	4.9%
7. 社会問題に関すること （社会・時事、国際、消費生活・リサイクルなど）	13人	12.7%
8. パソコンやインターネットなどITに関すること	15人	14.7%
9. 図書館の資料を利用して知識を得ること	34人	33.3%
10. その他	4人	3.9%
全体	234人	

設問14: 設問12で選択肢1「ある」を選択した方にお伺いします。
あなたが、生涯学習を行う目的は何ですか。(複数回答可)

1. 日常生活に役立てるため	52人	51.0%
2. 楽しむことで人生を豊かにするため	71人	69.6%
3. 健康の維持や体力づくりのため	44人	43.1%
4. 地域活動・ボランティア活動に役立てるため	13人	12.7%
5. 交友関係を広げるため	15人	14.7%
6. 自由時間を有効に活用するため	34人	33.3%
7. 仕事や就職、資格のため	21人	20.6%
8. 教養を高めるため	37人	36.3%
9. 特にない	0人	0.0%
10. その他	0人	0.0%
全体	287人	

設問15: 設問12で選択肢1「ある」を選択した方にお伺いします。
どのような場所や形態で生涯学習を行いましたか。(複数回答可)

1. 社会教育館、区役所などの公共施設が行う講座	40人	39.2%
2. カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間講座や教室、通信教育	26人	25.5%
3. サークル、グループ、クラブ、同好会などの活動	30人	29.4%
4. 図書館、博物館、美術館など	45人	44.1%
5. テレビやラジオ	19人	18.6%
6. 情報端末(スマートフォンやタブレットなど)やインターネット	31人	30.4%
7. 自宅(書籍など)	38人	37.3%
8. 高校、大学、大学院、専門学校などの講座や教室	13人	12.7%
9. 職場の教育、研修	4人	3.9%
10. その他	1人	1.0%
全体	247人	

設問16: 設問12で選択肢2「ない」を選択した方にお伺いします。
過去1年間に生涯学習をしなかった理由は何ですか。(複数回答可)

1. 仕事で時間がない	29人	38.7%
2. 育児、介護などで時間がない	22人	29.3%
3. お金が掛かる	5人	6.7%
4. 学びたいものがない	16人	21.3%
5. 身近な施設や場所がない	12人	16.0%
6. きっかけがない	28人	37.3%
7. 学習に必要な情報が手に入らない	13人	17.3%
8. 講座の開催日時が合わない	17人	22.7%
9. やりたいと思わない	7人	9.3%
10. 特に理由はない	5人	6.7%
11. その他	2人	2.7%
全体	156人	

設問17: 今後どのような生涯学習を行いたいですか。（複数回答可）

1. 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）	60人	33.9%
2. 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など）	30人	16.9%
3. 健康・スポーツ（運動・体操・健康法・栄養法など）	44人	24.9%
4. スマホ・パソコンなどの知識・技能	11人	6.2%
5. インターネット（SNSやHP等）やAIの知識・技能、 情報リテラシー（著作権・肖像権等）	16人	9.0%
6. 家庭生活に役立つ技能	13人	7.3%
7. ボランティア活動のために必要な知識・技能	8人	4.5%
8. 社会・地域課題に関すること	17人	9.6%
9. 職業上必要な知識・技能	12人	6.8%
10. その他	1人	0.6%
無回答	2人	1.1%
全体	214人	

設問18: 区内には、生涯学習を行う施設として、社会教育センターと4つの社会教育館があります。社会教育センター等ではホールや会議室、和室などの貸出とともに、区民の皆さんの学習・文化活動のきっかけ作りのため、各種講座やイベントなどを実施しています。あなたはこれまでに社会教育センターや社会教育館を利用したことがありますか。

1. 利用したことがある	58人	32.8%
2. 利用したことがない	118人	66.7%
無回答	1人	0.6%
全体	177人	100.0%

設問19: 設問18で選択肢1「利用したことがある」を選択した方にお伺いします。社会教育センターや社会教育館をどのような用途で利用しましたか。（複数回答可）

1. 各種講座（生涯学習スタート講座、我がまち先生講座、 学びの仲間体験講座、現代課題講座など）	31人	53.4%
2. サークル活動（文化）	10人	17.2%
3. サークル活動（音楽）	5人	8.6%
4. サークル活動（運動）	10人	17.2%
5. 活動団体への加入相談・紹介	3人	5.2%
6. サークルフェスタ等イベント	8人	13.8%
7. 会議、打合せ等	14人	24.1%
8. 料理活動	2人	3.4%
9. その他	1人	1.7%
全体	84人	

設問20: 設問18で選択肢2「利用したことがない」を選択した方にお伺いします。その理由は何ですか。（複数回答可）

1. 施設存在を知らない	40人	33.9%
2. 施設名称が分かりづらく、何が出来るか分からない	27人	22.9%
3. 利用する必要（機会）がない	56人	47.5%
4. 同じ人ばかりが利用していて、入りにくい雰囲気がある	16人	13.6%
5. 施設、設備が古い	6人	5.1%
6. サービスや設備に魅力がない	11人	9.3%
7. 利用方法が分からない	27人	22.9%
8. 利用料金が低い	1人	0.8%
9. 通いやすい場所がない	15人	12.7%
10. その他	6人	5.1%
全体	205人	

設問21: 今後の社会教育センターや社会教育館に求めるものは何ですか。（複数回答可）

1. 趣味や教養の充実としての場	107人	60.5%
2. 体を大きく動かすことのできる場	69人	39.0%
3. 演奏や合唱など音楽活動のできる場	36人	20.3%
4. 絵画や工作などの創作活動を行うことのできる場	29人	16.4%
5. 地域の人とのつながりのきっかけとなる場	68人	38.4%
6. 新しい知識や技能の習得の場	68人	38.4%
7. 特になし	15人	8.5%
8. その他	6人	3.4%
無回答	1人	0.6%
全体	399人	

設問22: 生涯学習について、ご意見等がありましたらご記入ください。

【認知症について】

設問23: 認知症という病気や、認知症のある人の生活・支援方法について、どの程度知っていますか。

1. よく知っている	24人	13.6%
2. ある程度知っている	92人	52.0%
3. 言葉は知っているが、内容はよく知らない	51人	28.8%
4. まったく知らない	10人	5.6%
全体	177人	100.0%

設問24: 認知症になった際の相談窓口を知っていますか。

1. 知っている	40人	22.6%
2. 知らない	137人	77.4%
全体	177人	100.0%

設問25: あなたが認知症になった（かもしれない）ときに、家族以外でどこに相談したいと思いますか。

1. かかりつけ医療機関・近所の医院	75人	42.4%
2. 精神科や認知症専門の医療機関（もの忘れ外来など）	31人	17.5%
3. 地域包括支援センター	28人	15.8%
4. ケアマネジャー、介護サービス事業所	11人	6.2%
5. 区役所（相談窓口、保健所、保健相談センターなど）	12人	6.8%
6. 相談したいが、どこに相談すればよいかわからない	19人	10.7%
7. 相談したくない	1人	0.6%
8. その他	0人	0.0%
全体	177人	100.0%

設問26: 区の認知症に関する取り組みについて、知っているものはありますか。（複数回答可）

1. たいとうものわすれ安心ガイドブック～認知症ケアパス～	14人	7.9%
2. 認知症サポーター養成講座	41人	23.2%
3. 認知症高齢者等早期発見ステッカー	13人	7.3%
4. 認知症高齢者位置確認システム（GPS）	15人	8.5%
5. 認知症カフェ（認知症のある人、その家族などが交流できる場）	21人	11.9%
6. もの忘れ検診	22人	12.4%
7. 認知症専門相談	9人	5.1%
8. 介護・こころのケア相談	12人	6.8%
9. 認知症支援相談窓口（区や地域包括支援センター）	22人	12.4%
10. たいとうオレンジボランティア （認知症のある人や家族を支援するボランティア）	9人	5.1%
11. 知っているものはない	97人	54.8%
12. その他	1人	0.6%
全体	276人	

設問27: 令和6年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」では、認知症になってもできること・やりたいことがあり、希望をもって自分らしく暮らすことができるという「新しい認知症観」が示されました。自身が認知症になっても、本人が望む生活（趣味や役割など）を続けたいと思いますか。

1. そう思う	95人	53.7%
2. どちらかといえばそう思う	70人	39.5%
3. どちらかといえばそう思わない	5人	2.8%
4. そう思わない	1人	0.6%
5. わからない	6人	3.4%
全体	177人	100.0%

設問28: あなたや身の周りの人が認知症になった場合、あなたや家族が必要だと思うことや支援はどれですか。（複数回答可）

1. 認知症について正しく理解する地域住民の増加	81人	45.8%
2. 本人が生きがいや希望をもって生活をするための支援	99人	55.9%
3. 家族への相談支援や介護負担の軽減	123人	69.5%
4. 不安や困りごとを気軽に相談できる窓口の充実	94人	53.1%
5. 認知症のある人や家族が交流できる場の増設	42人	23.7%
6. 定期的な見守りや声かけなど、地域での支え合い	56人	31.6%
7. 店舗や公共交通機関などでの認知症のある人への理解（親切な接客や案内など）	36人	20.3%
8. 認知症のある人の外出を見守るネットワークや見守りグッズの充実	47人	26.6%
9. 権利や財産を守るための支援	54人	30.5%
10. 生活支援（買い物、家事、外出など）	87人	49.2%
11. 介護サービスの利用支援	84人	47.5%
12. 特になし	2人	1.1%
13. その他	1人	0.6%
全体	806人	

設問29: 認知症に関するイベントを行う場合、参加してみたいものはどれですか。（複数回答可）

1. 医療職や福祉職、専門職による個別相談会	53人	29.9%
2. 認知症のある人や家族も含めた交流事業	30人	16.9%
3. 認知症のある人を支えるボランティア活動	25人	14.1%
4. 認知症に関する講座・講演会	61人	34.5%
5. 脳トレーニングや認知症予防になる体操などを取り入れた教室	59人	33.3%
6. VR認知症体験会	32人	18.1%
7. 認知症のある人を介護するための介護教室	38人	21.5%
8. わからない	36人	20.3%
9. その他	0人	0.0%
全体	334人	

設問30: 認知症に関する講座を実施する場合、受講しやすい形態はどれですか。（複数回答可）

1. 平日・日中・対面式	47人	26.6%
2. 平日・夜間・対面式	29人	16.4%
3. 平日・日中・オンライン形式	26人	14.7%
4. 平日・夜間・オンライン形式	48人	27.1%
5. 土日祝・日中・対面式	71人	40.1%
6. 土日祝・夜間・対面式	39人	22.0%
7. 土日祝・日中・オンライン形式	63人	35.6%
8. 土日祝・夜間・オンライン形式	52人	29.4%
9. オンデマンド配信（Youtube、DVD等）	66人	37.3%
10. その他	1人	0.6%
無回答	1人	0.6%
全体	443人	

設問31: 認知症に関して、区で行う取り組みのうち、どのようなものが必要だと思いますか。
(複数回答可)

1. 認知症への正しい理解を広める啓発活動	78人	44.1%
2. 本人の気持ちや希望を尊重する支援の推進 (本人ミーティングなど)	61人	34.5%
3. 認知症のある人の社会参加の場づくり (地域活動参加、ボランティア活動など)	54人	30.5%
4. 認知症のある人を支援するボランティアの養成	58人	32.8%
5. 認知症のある人、家族、地域の人と交流できる場の充実 (認知症カフェなど)	41人	23.2%
6. 権利や財産を守るための相談や支援体制の充実	57人	32.2%
7. 脳トレーニングや認知症予防体操などの健康づくり教室の充実	63人	35.6%
8. 若年性認知症 (65歳未満) の人や家族への支援の充実	52人	29.4%
9. 早期発見・早期診断のための仕組みづくり	85人	48.0%
10. 医療・介護サービス事業者との連携促進	61人	34.5%
11. 認知症や病院、介護サービスなどを相談できる窓口の充実	63人	35.6%
12. 外出時の見守り体制の強化	42人	23.7%
13. 生活する上での障壁を減らす、認知症バリアフリー化の促進	23人	13.0%
14. その他	3人	1.7%
無回答	1人	0.6%
全体	742人	

設問32: 区の認知症に関する取り組みについて、ご意見がありましたらご記入ください。

令和8年度 第1回
台東区区政サポーターアンケート調査報告書

編集・発行 令和8年6月
台東区総務部広報課
令和8年度登録第31号